

高体連空知 柔道大会

4試合全勝し優勝 全道へ

唯一の柔道部員・齊藤飛龍さん 練習積み重ね成果発揮



担当
朝岡 萌衣(2B)
小宮山美和(2A)

5月22日に芦別青年センター体育館で空知高等学校柔道大会が行われた。男子個人戦60kg以下級に滝川の唯一の柔道部員である齊藤飛龍さん(3D)が出場し、4試合すべて一本勝ちで優勝するという見事な成績を収めた。

1試合目は岩見沢農業高校を相手に背負い投げ・返し技を決め、2試合目は同じく岩見沢農業高校と戦い大内刈(おおうちがり)を決めた。3試合目は深川東高校と勝負し、三角絞めで倒した。4試合目はまたも岩見沢農業高校との対決。得意の背負い投げを決め、熱い戦いを見せた。

試合終了後に思いを聞くと、「日頃の成果を出せたが、至らない所があった。全道に向けてがんばりたい」と話してくれた。小学校の頃から辛くても諦めずに柔道を続けてきた齊藤さんは、高校最後の大会で、これまで目標としてきた「優勝」を実現することができた。優勝できた感想は、「(優勝は)だいたい決まっていた。これはほぼスタートライン」とのことだ。また、試合当日に坊主頭にしたことについて「小学校時代はずっと坊主で、最後の試合で初心に戻った。体重制限が危なくて髪を剃ることで体重制限をクリアするためもあった」と教えてくれた。

6月22日～25日に行われる全道大会に向けては「最終目標はもつと奥で、『北海道一』を目指す」と述べた。応援してくれた方々に向けて「勢いを落とさずヒリユウ革命を起こす!」と意気込みを表明する場面もあった。

齊藤さんは部員が1人という困難な状況の中で、トレーニング器具を使った練習や滝川

高校、滝川工業高校などとの合同練習に励み、日々、本番に向けて練習を積み重ねてきた。

柔道部はまだまだ部員募集中だ。やる気のある新入部員の登場を齊藤さんは待っている。

〈解説〉今回齊藤さんが決めた技

○背負い投げ・・・相手を背負って、自分の肩越しに投げる

柔道の代表的な技。

○返し技・・・相手が技を掛けてきた機会を捉え、切り返して逆に相手を投げる技のこと。

○大内刈・・・相手の懐に入って内側から足を刈り、後ろ側へ倒す技。

○三角締め・・・三角形に組んだ両足の中に相手の首と腕を捕らえ、足の力で締め付けることによって頸動脈を締める技。



岩見沢農業高校との試合



賞状を手に笑顔を見せる齊藤飛龍さん